



洞爺湖町子育て支援センター ☎・fax 76-2008

メールアドレス Kosodate.center@town.toyako.hokkaido.jp 令和3年10月1日

にぎやかな虫の声が聞こえてくる季節になってきました。お部屋の壁には、美味しい果物をのせたトラックが秋を知らせてくれています。これからは、山々の葉が色づき、栗やドングリなどの木の実拾いが楽しい時期です。お天気の良い日にお散歩に出掛け一緒に発見してみませんか？ 拾ったドングリで人形やおもちゃのマラカスを作りたいと考えています。

沢山のお友だちと秋を満喫したいです。遊びに来てください。

動きやすい服装でお願いします。まだまだ暑い日があるので水分補給の飲み物、帽子、着替え、タオル、ベビーカー（必要な方）上着の用意をお願いします。

秋の季節に合わせてぶどう、かき、りんごを花紙で作って、部屋に飾っています。沢山の果物をのせたいと思います。

「開 股」にて

子どもの心の成長も早いもので手作りの玩具「ぼとん」を仲良く一緒に遊べるようになりました。



< 散 歩 >

散歩にはたくさんの学びのチャンスがあります。
0歳児と1歳児以上に分けて良い面を考えてみました



「赤ちゃんのお散歩はいつごろから？」

0歳の赤ちゃんは首がしっかりしてきて縦抱きがしやすくなれば、赤ちゃんを抱っこする人も楽です。ベビーカーは、赤ちゃんには、振動に気を付けて、6～7ヶ月になって腰がすわり、あかちゃんが自分の力で体を支えて見回せるようになると一層楽しくなります。

「赤ちゃんのお散歩のメリット、楽しみ方」

- 少しずつ外気に触れるとことで皮膚や呼吸面の抵抗力が養われます。
- 外を歩きながら次々に変わる景色の中、親は「きれいな花だね」などと自然にたくさんの言葉かけをします。赤ちゃんからはまだ言葉を理解できませんがこの頃からコミュニケーションの基礎を築き、言葉の発達につながります。
- 親も色々な景色を見るだけでもリフレッシュになります。
- 太陽の光は、体を目覚めさせて生活リズムを整える効果があります。
- おむつや授乳のことを考えるとなかなか散歩に行きたいと思わないかもしれませんが近所でもゆっくり歩いてみると今まで知らなかった風景を楽しむことに気づきます。

「1歳児以上の外遊び、お散歩のメリット、楽しみ方」

- 歩けるようになると外の色々な場所に興味をもち、歩くのが楽しくなります。すると運動能力が高まり、体力がつきます。
- 一緒に散歩する親も体力がつきます。
(家の中で歩くだけでは使わない筋肉が刺激されるからです)
- 色々な場所を歩けるようになると子どもにとって大きな自信につながります。
- 親とのコミュニケーションも身につく、絵本を見ながら散歩中に見た草花や動物、昆虫などについて親子で話をすると記憶力や想像力も伸ばすことができます。
- 体験から五感（見る、聞く、味わう、触れる、嗅ぐ）を育ちます。
- おにぎりやサンドイッチなど簡単なお弁当を持参してのんびり、ゆったりとするとストレス解消になり、親子の関係も良くなります。

(あそびと環境0・1・2歳 引用)

「10月の予定カレンダー」

日	月	火	水	木	金	土
					1 開設	2
3	4 開設	5 開設	6 桜ヶ丘保育所が運動会の為、開放は中止します。 *開設時に計測を行います	7 開設は休み	8 開設	9
10	11 開設	12 子育てセミナー②	13 洞爺保育所開放	14 開設	15 親子ふれあい遊び	16
17	18 開設	19 開設	20 本町保育所開放 (ミニ講習・誕生会)	21 開設	22 開設	23
24/31	25 開設	26 開設	27 入江保育所開放	28 開設	29 開設	30

*10月7日(木)は保育所の行事、運動会と重なった為、開設をお休みします。ご協力をお願いします。

【子育てセミナーのお知らせ】

子育てセミナーは、下記の予定で行います。

リフレッシュを兼ねて参加してみたいかたがでしょう！

*11月9日(火)「歯の大切さ」

*12月7日(火)「アイシングクッキー作り」

*1月18日(火)「ヨガで正月太りを解消しよう」

詳しくは、ポスター、洞爺湖町ホームページ、町民広報に掲載しています。

☆予約制なので事前に申込みが必要です。



【親子ふれあい遊び】

★小麦粉粘土で遊ぼう

「スタンプラリーで遊ぼう」から「小麦粉粘土で遊ぼう」に変更します。
小さい子が口に入れても安全な小麦粉粘土。お子さんと一緒に小麦粉粘土の心地よい感触を味わいませんか。

日時：10月15日(金) 10:00~11:30

場所：地域交流センター

持ち物：着替え、タオル、水分補給物(水か麦茶)、汚れてもよい服装(親子帽子、上着、ベビーカー(必要な方のみ))

申込み締切日 10月12日(火)まで

☆電話での申込みも受け付けています。

「子どもと読み合う絵本」



「0・1・2歳児にとっての絵本は、大人が読み聞かせるもの」そんなふうに思っていないですか？でも実は、子どもと絵本を読み合うことができるのです。絵本を通して「わくわく感」や喜び、驚きを一緒に体感して読み合ってください。でもどんな絵本が良いのか？戸惑うと思います。基本は、子どもが興味や関心に合っている絵本が「いい絵本」ですがそれでも何となく？と思う方は下記の絵本を参考にしてそこから子どもと一緒にひろげてほしいと思います。

【生後10ヶ月頃(見るところが定まり、指さしが始まる)~】

- 絵は、シンプルで輪郭がはっきりと描かれていて「くつ」「りんご」などそれとわかる物。
- 身近な物や食べ物やスプーン、動物などが描かれていり絵本

【1歳前半~】

- 1歳を過ぎてくると、大人に働きかけてもらっていたところから、一緒にかかわることが楽しくなります。絵本「くだもの」であれば「どうぞ」の声を聞くつつまんで差し出したりします。
- 音に敏感な時期でもあるので日常にない音、異質な音がでると反応します。「もこもこもこ」など

【2歳児以上】

- 個人差はありますが1歳後半になると、言葉の意味もわかりはじめ、ごく簡単な物語絵本も楽しめる土台が育ってきます。物語絵本としてお勧めなのが「おつきさまこんばんは」などシンプルな話がよいでしょう。

【ストーリーを感じはじめる時期】

- 絵本でイメージしたことをお友だちと共有して、一緒に「ごっこあそび」を展開する姿が見られるようになる。
- 「はじめてのおるすばん」「もりのおふろ」など楽しめるようになる。

(あそびと環境0・1・2歳 引用)